

高知工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)	授業科目	プログラミングII		
科目基礎情報							
科目番号	0007		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電気情報工学科		対象学年	3			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書: 林晴比古「新訂 新C言語入門 ビギナー編」(ソフトバンクパブリッシング) 参考書: 三田典玄「入門C言語」(オーム社)						
担当教員	西内 悠祐						
到達目標							
【到達目標】 1. Windows環境で、C言語プログラミングに立ち向かう実力と自信を養成する。 2. 望む目的を達成するためのプログラムを1から構築することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	どのような環境でもプログラムを作成できる。		Windows環境でプログラムを作成できる。		Windows環境でプログラムを作成できない。		
評価項目2	望む動作からアルゴリズムを見出し1からプログラムを構築できる。		簡単な動作をC言語で実装できる。ソースからプログラムの動作を理解できる。		ソースからプログラムの動作を理解できない。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	技術者として必要な専門基礎のひとつである情報処理技術のうち、プログラミングについて学習する。プログラミングIで学んだC言語の基礎知識をもとに、応用プログラムの作成技法を学ぶ。アルゴリズムを学ぶことから、コンピュータの仕組みを理解し、論理的に最後まで考える力を養う。						
授業の進め方・方法	言語や手法の説明の後、実技として簡単なプログラム構築を行う。						
注意点	試験の成績70%、平素の学習状況等(課題・小テスト・レポート等を含む)を30%の割合で総合的に評価する。成績評価は前学期中間と前学期末の各期間の評価の平均とする。学年の評価は前学期末の評価とする。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を試験等において評価する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	C言語基礎[1-2]: プログラミングIで習った内容について復習を行う。		C言語の基礎を理解し、プログラム構築を行うことができる。		
		2週	C言語基礎[1-2]: プログラミングIで習った内容について復習を行う。		C言語の基礎を理解し、プログラム構築を行うことができる。		
		3週	配列とポインタ[3-4]: 配列とポインタについて学び、ポインタ操作についての実習を行う。		配列とポインタの動作について理解できる。		
		4週	配列とポインタ[3-4]: 配列とポインタについて学び、ポインタ操作についての実習を行う。		配列とポインタの動作について理解できる。		
		5週	構造体 [5-6]: 構造体について学び、実習を行う。		構造体を作り、使用することができる。		
		6週	構造体 [5-6]: 構造体について学び、実習を行う。		構造体を作り、使用することができる。		
		7週	関数とポインタ・構造体 [7-10]: ポインタや構造体を使った関数について学び、実習を行う。		ポインタ、構造体を使った関数の動作を理解できる。		
		8週	関数とポインタ・構造体 [7-10]: ポインタや構造体を使った関数について学び、実習を行う。		ポインタ、構造体を使った関数の動作を理解できる。		
	2ndQ	9週	関数とポインタ・構造体 [7-10]: ポインタや構造体を使った関数について学び、実習を行う。		ポインタ、構造体を使った関数の動作を理解できる。		
		10週	関数とポインタ・構造体 [7-10]: ポインタや構造体を使った関数について学び、実習を行う。		ポインタ、構造体を使った関数の動作を理解できる。		
		11週	標準ライブラリ [11]: 標準ライブラリについて学び、ライブラリの関数を利用する実習を行う。		標準ライブラリを使用することができる。		
		12週	ファイル入出力 [12]: ファイル入出力について学び、実習を行う。		ファイル入出力を行うことができる。		
		13週	分割コンパイルとプリプロセッサ[13]: makeファイル、モジュール化について学び、分割コンパイルの実習を行う。		分割コンパイルがどのようなものか理解できる。		
		14週	総合課題[14-15]: 今までに習ったC言語の知識を用い、プログラム作成の課題を行う。		自分で考えたプログラムを構築できる。		
		15週	総合課題[14-15]: 今までに習ったC言語の知識を用い、プログラム作成の課題を行う。		自分で考えたプログラムを構築できる。 1		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	10	20	100
基礎的能力	50	0	0	0	10	10	70
専門的能力	20	0	0	0	0	10	30

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---